

認知症サポーターにいませんか？

働く人の認知症サポーター養成講座のご案内



認知症サポーター養成講座の目的

高齢化が進むことにより、認知症になる人も増え、厚生労働省が発表した新オレンジプランによると平成37年には認知症の人が700万人前後となり、その割合は65歳以上の5人に1人とさらに増加すると予想されます。

認知症は既に他人事ではなく、年を取れば誰にでも起こりうる身近なこととなっています。認知症の方はちょっとした手助けがあれば在宅生活を続けることが可能ですが、まだまだ偏見が残っており、本人や家族が苦しんでいることも多くあります。

こうしたことからうるま市では、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、認知症についての正しい知識を持ち、認知症の人や家族を見守る応援者である認知症サポーターの養成に努めています。



受講効果

認知症サポーター養成講座を受講する事で・・・

★高齢者の増加に伴い、仕事面でも高齢者と接する機会が増えており、認知症の正しい知識を持った従業員が増えることは、お客様のサービスの向上や企業イメージアップにつながります。

★従業員の方のご家族や身近な方が認知症になった場合、正しい知識を持つことで、抱え込むことなく早めの相談やサービスの利用がスムーズになります。

是非、この機会に従業員研修の一環として「認知症サポーター養成講座」の開催をご検討いただきますようお願いいたします



講座の内容及び時間

内容

認知症とは？
認知症の人への正しい接し方は？
私たちが職場でできることは？

時間

60～90分

開催方法

職場の従業員など10名以上のグループから申し込みがあれば講師を派遣いたします。なお教材費や受講料は無料です。

★受けたいが人数が揃わないなどがあれば一度ご相談ください。

場所

会場の確保は申し込み者にてお願いします。

申し込み方法

別紙の「認知症サポーター養成講座開催申込書」に必要事項を記入の上、うるま市地域包括支援センター窓口にご持参いただくか、ご郵送またはFAXでお送りください。

お問い合わせ：うるま市介護長寿課地域支援係

☎098-973-5112 FAX098-982-6041